

私たちは、技能に優れた鉄筋工事企業集団として、社会に貢献します。



# POWER

Vol.  
**74**

季刊誌POWER 発行所：公益社団法人 全国鉄筋工事業協会 〒101-0046 千代田区神田多町2丁目9番6号田中ビル4階  
TEL 03-5577-5959 FAX 03-3252-9170 (令和5年7月20日発行)

SUMMER 2023

## 副会長就任挨拶



飯島 勉

この度、副会長という大役を拝命致しました。飯島鉄筋工業株式会社の飯島勉です。身に余る光栄であるとともに、責任の重さに身の引き締まる思いでございます。

日本の鉄筋工事業の歴史はまだまだ130年程とされています。地震の多い我が国では、その浅い歴史の中でも、高度成長等も有り様々な建造物がRC造で出来てまいりました。また、鉄筋はそれに欠かせないものであり、新しい施工方法が出ない限り今後も続いていくと思います。最近、元請より、私達鉄筋工業者には、安全・品質はもとより、熟達した作業能力、豊富な知識、現場を効率的にまとめるマネジメント能力等、色々と求められるようになってきたのに対し、ここ数年、私たちの業界も若い担い手の確保が難しく、このままでは、10年後、20年後には現場の施工管理、図面を読み取れる職長が不足してしまうのではと危惧しております。やはり、今やるべき事は、現場で働いて頂いている職人さん達の処遇を改善する、また、若い人達にこのものづくりの仕事に魅力を持って貰えるようにする為、まずは賃金を上げる事が最重要と考えております。

皆様のご理解とご協力を賜りながら微力ではございますが誠心誠意務めさせていただきます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



宮村 博良

この度、副会長を拝命受賜りました株式会社宮村鉄筋工業の宮村博良です。大変に身の引き締まる思いでございます。

近年、我々建設業界はさまざまな課題を抱えています。職人の高齢化に加え若年層の入職者数は低調で、は深刻な問題となっています。職人の高齢化に加え若年層の入職者数は低調で、技術継承が進んでいないこの現状は早急に対処すべき問題です。

入職者の福利厚生制度の完全加入と賃金向上の改善が人材不足解消の要である。と私は声を大にして言いたいと思います。職人のモノづくりが適正価格で評価されるからこそ入職者が技に打ち込めるような、安定した暮らしができるからです。この業界の将来のために、職人が入職しやすく安心して働き続けられるような労働環境の整備、後継者を育成するための体制づくりを岩田会長体制のもと、副会長として尽力して参ります。

皆様のご協力、ご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

## 令和五年春の褒章 授章者 叙勲 旭日双光章

### 田村 定弘 様

(公社)全国鉄筋工事業協会  
元常任理事  
新潟県鉄筋業協同組合 元理事長  
株式会社 田村工務店 元会長



## 組合紹介 山形県鉄筋工事業組合

山形県は東北地方では岩手県の次に広い面積を持っており、大きな山々で囲まれた盆地であります。宮城県とは奥羽山脈の蔵王山、福島県とは吾妻山、新潟県とは飯豊山、秋田県とは鳥海山に囲まれています。そして山形県内では月山を境とし、内陸地方と庄内地方に別れております。山形県鉄筋工事業組合は約十五年前まで山形県全体の組織でありましたが、内陸地方と庄内地方で二分する事になり、今は別々に活動しています。全国鉄筋工事業協会に入会したのは内陸地方の十五社ですが、庄内地方にも十二社あり、今後は県全体の組織にと考えております。山形県は多くの山々が観光の名所となっており、米沢の天元台、上山の蔵王、夏スキーも楽しめる西川町の月山とスキーをする方には天国ではないかと思っております。他にもかの有名な俳人松尾芭蕉が詠んだ「閑かさや岩にしみ入る蝉の声」でも知られる東北を代表する天空の古刹、山寺があります。また山形県は果物の栽培も盛んで、中でもサクランボは有名で赤いダイヤとして知られています。山形の秋の風物詩といえば美味しさもスケールも日本一の芋煮会、直径六メートルの大鍋で重機を使い三万食を作る芋煮は圧巻です。冬は周りが山々という事で積雪量も多く、ひと冬で七メートルも積もる温泉場もあります。その為冬は建設工事が出来なくなり、出稼ぎに頼る事が多かった時代もありましたが、今では技術も向上し冬でも工事が出来るようになりました。しかしながら、山形も人手不足が深刻化しており、後継者のいない会社の廃業が増えつつあります。組合員同士交流を深めながら難局を乗り越えていきたいと思っております。全国鉄筋工事業協会の皆様の経験や情報をお聞きしながら頑張っていきたいと思っておりますので今後とも宜しくお願い致します。

# 第12回(通期第38回)社員総会

令和5年6月9日(金) ステーションコンファレンス東京

## A. 令和5年度功労者表彰

(公益社団法人全国鉄筋工事業協会会長賞)

氏名	会員名	会員役職	所属会社/役職
中銭 敬	北海道鉄筋業協同組合	副理事長	(株)中銭鉄筋工業 代表取締役
小椋 靖晃	群馬県鉄筋工業組合	専務理事	(株)小椋工業 代表取締役
塗木 賢治	東京都鉄筋業協同組合	副理事長	永和産業(株) 代表取締役
早川謙太郎	協同組合東京鉄筋工業協会	副理事長	(株)日新鉄筋 代表取締役
兼松 昌男	関西鉄筋工業協同組合	副理事長	兼松工業(株) 代表取締役

(敬称略)

## B. 議案

- 第1号議案 令和4年度事業報告、並びに会計決算報告 承認の件
- 第2号議案 令和5年度事業計画及び収支予算書 承認の件
- 第3号議案 役員改選 承認の件

## C. 第2回 理事会

- 第1号議案 幹部役員の選定 承認の件
- 第2号議案 業務執行理事(事業委員長)の選定 承認の件

## D. 講演 30分

「建設業技能労働者の処遇改善に向けて」

講師 国土交通省 不動産・建設経済局 建設業課

入札制度企画指導室長 児玉 和久 様



日刊建設工業新聞2023年6月13日

## 業界は大きな転換期

全鉄筋 全国鉄筋工事業協会(岩田正吾会長)は、第12回社員総会をオンラインも併用しながら東京・丸の内ステーションコンファレンス東京で開催、任期満了に伴う役員改選で岩田会長を再任した。



岩田会長は「建設業界は大きな転換期を迎えている」と前置きした上で「われわれは職人を雇用し育成していく。価格(受注単価)を下げるアローカーのなげを止めさせなければならない。また、職人にきちんと賃金を支払う」とコミットしなければならぬ」と新たな取り組みへの協力を訴えた。写真。

岩田会長の発言は、主要建設業団体も参加した国土交通省の有識者会議「持続可能な建設業に向けた環境整備検討会」で提言された。労働費を削減とする発注者の販売行為制限や、下請けによる資金支払いのコミットメント(表明保証)を来賓として国土交通省の長橋和久(労働・建設経済局長)も「重要なのは(労働費)単価改定が職人の賃金アップにつながる好循環にしていけることが必要」と強調した。(6・9)

建設通信新聞 2023年6月12日

## 総会

### 岩田会長が再任

全鉄筋

全国鉄筋工事業協会(全鉄筋、岩田正吾会長)は9日、社員総会を東京都千代田区のステーションコンファレンス東京で開催、2023年度の事業計画と収支予算などを決めた。任期満了に伴う役員改選では岩田会長、新妻尚祐副会長が再任されることにも、飯島勉(愛知鉄筋業協同組合)、宮村博良(福岡県鉄筋事業協同組合)の両氏が新たに副会長に就いた。

冒頭、岩田会長は国土交通省で検討が進められている建設業の持続可能な施策について触れ「簡潔に言う」と、専門工事業が「たまたま合い」で安値な受注ができていないようにし、適正な価格で受注することで職人を雇用し育てるための施策を検討してもらっている。こうした仕組みが出来上がった際には、われわれも設計労務単価をベースにして職人にきちんとお金を支払う仕組みが求められる。職人にこれだけ支払うことをコミット(表明)していかねければならない」と語った。写真。



続いて来賓の長橋和久(国土交通省不動産・建設経済局長)が「まずは予算など市場を確保した上で、現場で働く人の処遇改善や働き方改革を進めていきたい」とあいさつした。23年度の事業計画では、建設キャリアアップシステム(CCUS)に関連して鉄筋技能者の能力評価(レベル判定)や、専門工事業の「施工能力の見える化評価」の申請受け付けを引き続き進めるほか、海外実習生の講習なども行う。

## 公益社団法人 全国鉄筋工事業協会 役員 (令和5年6月9日理事会決議)

(敬称略)

役職	氏名	団体名	会社名
会長	岩田 正吾	関西	正栄工業(株)
副会長	新妻 尚祐	東鉄協	新妻鋼業(株)
副会長	飯島 勉	愛知	飯島鉄筋工業(株)
副会長	宮村 博良	福岡	(株)宮村鉄筋工業
専務理事	小寺 洋志	石川	(株)コデラ
常務理事	熊谷 誠一	北海道	丸正誠伸興業(株)
常任理事	岑 直樹	宮城	松永鉄筋工業(株)
常任理事	飛田 良樹	鉄工協	飛田鉄筋工業(株)
常任理事	國井 均毅	静岡	(株)芳和建設工業
常任理事	樋脇 信二	千葉	高千穂鉄筋(株)
常任理事	山本 文明	愛媛	(株)山鐵
理事	菅井 宏剛	会員外	(職)全国建設産業教育訓練協会
理事	蟹澤 六雄	会員外	芝浦工業大学建築学部建築学科
理事	中川 浩樹	関西	(株)中鉄
理事	松本 幸夫	会員外	東陽建設工機(株)
理事	井手口 幸夫	佐賀	(株)井手鉄筋
理事	神田 勝一	新潟	神田鉄筋工業(株)
理事	根本 庄一	福島	(有)根本錦鉄筋工業所
理事	柳澤 英樹	会員外	(一社)建設産業専門団体連合会
理事	古澤 敬央	福岡	(株)マルショー鉄筋工業
理事	清水 竜二	愛知	(株)アイテツ
理事	坂本 桂一	広島	(株)坂本工業
理事	工藤 圭人	神奈川	(株)イー・ケー・エス
理事	竹光 勇一	岡山	(有)竹光建設工業
理事	田村 一夫	岩手	(有)田村鉄筋工業
監事	田中 毅	関西	(株)関西スチールフォーム

## ご退任役員

業界発展に全鉄筋の役員として、長きにわたる多大なご貢献に感謝いたします。お疲れ様でございました。

理事 (副会長) 篠森 義晴 (株)清進工業 代表取締役

理事 (副会長) 武田 美治 香川県鉄筋業協同組合 理事長 武田建設(株) 代表取締役会長

理事 宮本ゆり子 山口県鉄筋工業協同組合 理事長 宮本工業(株) 代表取締役

監事 小田桐 健 神奈川県鉄筋業協同組合 理事相談役 (株)スチール・ワン 代表取締役

(敬称略)

# 令和5年度 国土交通大臣表彰



中川 六雄 様

(公社)全国鉄筋工事業協会  
理事  
関西鉄筋工業協同組合  
副理事長  
(株)中铁 代表取締役社長

國井 均 様

(公社)全国鉄筋工事業協会  
常任理事  
静岡県鉄筋業協同組合  
理事長  
(株)芳和建设工業 代表取締役社長

飛田 良樹 様

(公社)全国鉄筋工事業協会  
常任理事  
協同組合東京鉄筋工業協会  
理事長  
飛田鉄筋工業(株) 代表取締役社長

宮村 博良 様

(公社)全国鉄筋工事業協会  
副会長  
福岡県鉄筋事業協同組合  
理事長  
(株)宮村鉄筋工業 代表取締役社長

新妻 尚祐 様

(公社)全国鉄筋工事業協会  
副会長  
東京都鉄筋業協同組合  
理事長  
新妻鋼業(株) 代表取締役社長



## 群馬県鉄筋工業組合 創立50周年

群馬県鉄筋工業組合が創立50周年を迎え、2023年6月23日、高崎市内のホテルで記念祝賀会が開催され、関係者約110名が祝った。

磯理事長は「若い世代に対し、魅力的で働きやすい職場環境の提供が必要であること。そして、コンクリートで見えなくなる鉄筋と同じように、我々も見えない努力で社会を支える使命を果たしていきたい」とこれからの50年に向けたあいさつを行った。また、歴代理事長3名に対し、感謝状の授与が行われた。



## 各地区広報活動報告

### 青森県鉄筋業協同組合青年部

今回で投稿が2回目となります、青森県鉄筋業協同組合青年部会長を務めさせていただいております(有)佐藤鉄筋興業の佐藤幸治です。

まずは、2022年全国鉄筋工事業協会青年部全国連絡会議東北八戸大会へご参加いただきました皆様、また、開催に向けてご尽力いただきました役員の皆様、東北同志の事務局の方々にも、この場をお借りして御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

さて、青森県では連絡会議でもお伝えした通り鉄筋業の2代目、3代目の若者が鉄筋業界へ入職してきており青年部としての活動もできるようになってきました。

今回は2022年に青森県立八戸工業高等学校で行った出前講座の様子を御報告いたします。

1年生の建築家を対象にした出前講座で、コロナ禍ということもあり1グループ8人から9人で1日目3時間で①基礎知識、2日目3時間で②組立施工を計4班で8日間にわたってしてもらいました。生徒からの感想は「鉄筋の認識はあったが組立する専門職があることを初めて知った」・「組み立て体験が楽しかった」・「学校で受けている授業の知識だけではなく見たり体験できたのが良かった」など、ありがた

い感想を頂き、近い将来、生徒たちの就職先の一つとして鉄筋業が選択肢の中に入っていればいいなと感じました。

どの業界も人手不足が叫ばれ、私たちの業界はさらに人員確保が困難な状況の今、このような地道なPRがいつか実となり業界発展の一路になってくれればと想いを馳せながら今後も鉄筋業界の広報活動を続けていきたいと感じています。



### 沖縄県鉄筋事業協同組合青年部会

令和4年度2月に沖縄県鉄筋事業協同組合が一本化しましたので、新しく青年部会を作り現在16名で活動しています。

活動内容として毎月第4水曜日に定例会で活動内容の確認、報告事項の伝達等しています。

力を入れているのが若年層の確保に関する活動です、工業高校への出前講座は楽しく鉄筋について知ってもらえるように、指導にも思いをこめています。

年8回の出前講座を計画し活動しています、写真は今年5月に沖縄工業での出前講座の様子になります。

今後もより一層、沖縄県青年部一致団結し意欲的に活動していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



**Q** 年収やボーナス等の変化はありましたか?  
 給与やボーナスは変わりませんでした(笑)  
 ただ会社、北海道の組合、全国の組合からお祝金を頂きました。

**Q** 優勝前後で身の回りの変化はありましたか?  
 個人的には変化は無かったです。周りの変化はありました。  
 現場で他の鉄筋屋さんや大工さん、結果を新聞で見た方に「おめでとう」と1、2か月程声をかけてもらい、やってきた事が評価されたのかなどうれしく思いました。

**Q** 山岡専務はどの様な経緯で入社されたのですか?  
 定時制高校の時に昼間のバイトを探していた時に、父親である山岡元専務に「建築関係を探しているならうちの会社で働けばいいんじゃないか」と勧められて高校1年生からバイトで入り、20才頃に正式に入社しました。

**Q** 難しそうな現場で今から緊張しますね。  
 図面を見て拾い出しをして、加工場に加工をお願いして、現場で組み立てをしながら周りを見て指揮をとります。

**Q** 社内概要を教えてください。  
 昭和57年創業、昨年40周年を迎えました。従業員数は25名、登録基幹技能者、1級鉄筋施工技能士、技能実習生等です。

**Q** 関連会社の旭都鉄筋では旭川初のタワーマンションの施工をしましたが東亜工業での最近の気になる現場はありますか?  
 現在も色々現場をやっているが、秋頃始まる日建設計の稚内の市役所が気になっています。腕を試されそうだしやりがいがありそうで今からドキドキワクワクして待ち遠しいです。

**Q** 稚内市役所ではどのような事を担当しますか?  
 職長です。

昨年、静岡県富士宮市の富士教育訓練センターで行われた日本一の鉄筋工を決める「第4回全国鉄筋技能大会(TETSU-1グランプリ)」に於いて全国選出29人の凄腕の頂点に立ち国土交通大臣賞を見事勝ち取った北海道旭川市東亜鉄筋工業株式会社(代表取締役 國井角成、関連会社 株式会社旭都鉄筋工業所、北海道旭川市)の山岡専務に優勝その後のインタビューをしました。

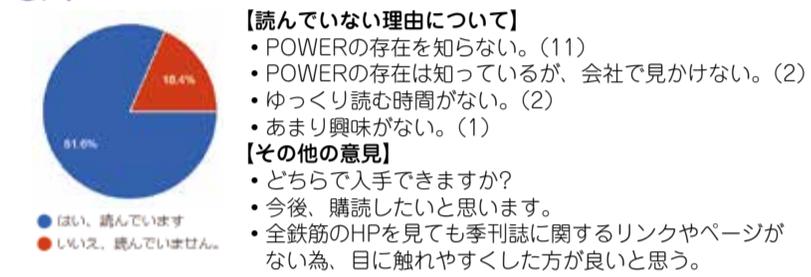


## 全鉄筋季刊誌「POWER」に関するアンケート結果について

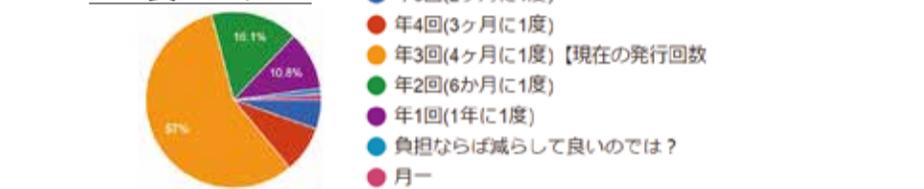


全国から114件の回答を頂きました。お忙しい中、ご回答いただき、本当にありがとうございます。今回の回答で、POWERの存在自体を知らない方が多くいらっしゃる事がわかりました。紙媒体のみであると、情報がどこかで滞る可能性があることがわかりました。また、お読みいただいている会員さんの半数は、すべてに目を通していただいていることもわかりました。POWERの満足度評価では、「3」以上の評価をしていただいた方が93%でした。高評価をいただいたことに甘んじることなく、これからも皆様のご意見を参考に、さらに良いものができるよう頑張っていきます。

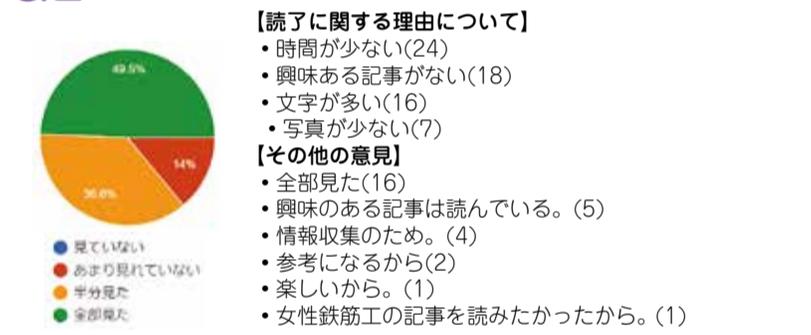
### Q1 季刊誌POWERを読んでいただいていますか?



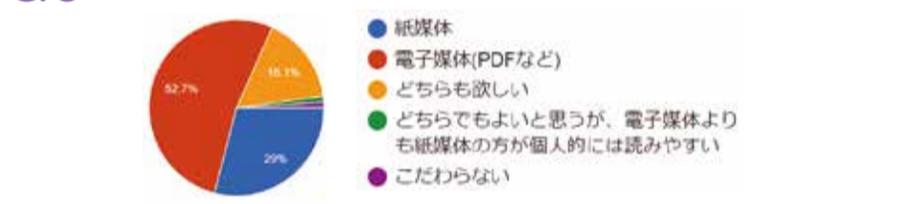
### Q5 現在POWERは年3回発行されています。発行頻度はどのくらいが良いですか?



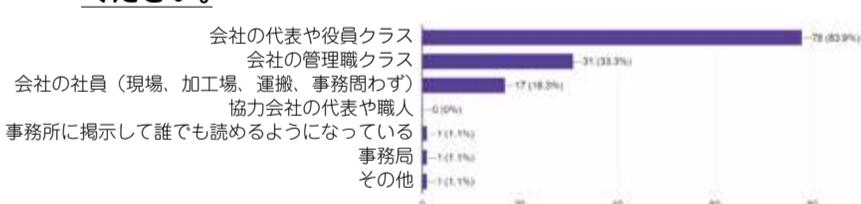
### Q2 POWERをどのくらい読了していただいていますか?



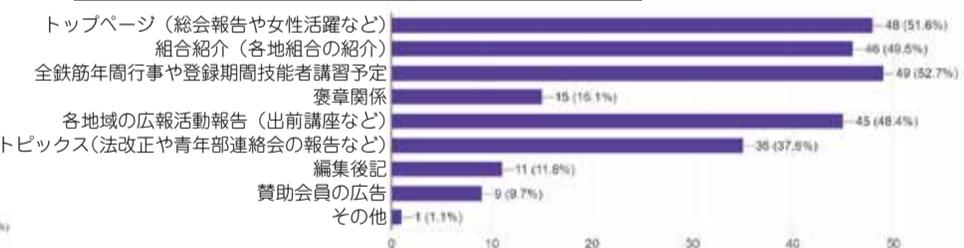
### Q6 今後発行されるPOWERの媒体はどれが良いですか?



### Q3 POWERを読んでいらっしゃる方をすべて選択ください。



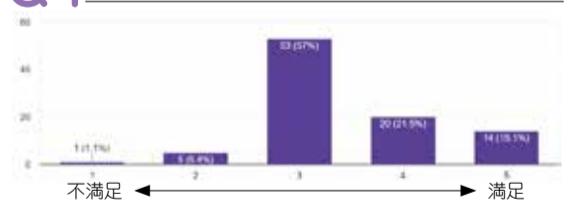
### Q7 POWERの中で興味深かったもの、面白かったもの、役に立ったもの、と思ったものはどれですか? 選択ください。



### Q8 今後POWERで取り上げてもらいたい特集があれば、ご記入ください。

- 先端技術、新工法、技術的な情報 (9)
- 社会情勢や法改正 (インボイス、時間外規制、働き方改革含む) (8)
- 単価アップ策 (4)
- 技能実習生等の外国人労働者について (3)
- 採用関係 (3)
- 組合運営 (3)
- 職人の仕事にフォーカス (2)
- 各地区、各団体の情報 (2)
- 人材育成 (1)
- 会社紹介 (1)

### Q4 POWERの満足度をお答えください。



### Q9 その他、POWERに対する質問や要望があれば、ご記入ください。

- 各会社社長インタビュー (2)
- 各県の単価や労務状況 (2)
- コンクリート構造物、鉄筋工事に関する講演会情報
- 外国人に対する情報が欲しい
- 各組合が全国に向けて発信したいこと発信する機会
- 業界の時事ニュースや景気情勢についてのコラム
- 発行回数を増やす
- 発行回数を減らす
- 週休2日に向けての取組や問題点
- 組合員お得情報
- 組合員の顔が見える記事
- POWERの有料化
- 電子媒体化
- 鉄筋工の若手にも分かる、興味のあるような内容

- 編集委員**
- 委員長 岑直樹 (宮城)  
 副委員長 宮本ゆり子 (山口)  
 木浪裕子 (北海道)  
 松本茂 (東鉄協)  
 工藤桂一 (神奈川)  
 松本真一 (静岡)  
 田浦真一 (関西)

**編集後記**

最近マイナンバーカードの不具合が各社報道で取り上げられています。新しいシステムを導入する時にはいろいろな不具合はつきものです。全鉄筋で考えるならCCUSや企業評価、MSIも未だ理解が進んでいないように思えます。システムの導入によってもたらされる恩恵は「会員全ての利益にならないならばならない」という考えは共通の認識だと思いますが、内容をよく理解し未来を描けるようになるまでは浸透しないというのは、時代の変化に対応が出来ないのだろうと考えてしまいます。まずは理解している方や、想像力の豊かな方が理解を促し、賛同を得られる説明等が必要だと思えます。各地域ごとに特徴があったり、文化も異なりますから様々な考え方や、意見もあると思いますが、各所で導入説明会が開かれています。是非足を運んでいただき、少しでも前進していく事に期待します。システムの導入が進めば次は運用となります。ここからシステム自体をより良いものに変えていく作業が求められます。全会員で知恵を出し合えば皆様も期待していたとおりになっていくと思えます。その先はこの業界がどのように変わっていくのか見定めたいと思います。

松本 勝